所定用紙 No.３（候補者推薦理由書）

2022年度留学生教育学会奨励賞

候補者推薦理由書

（この調書は、推薦者が記入してください）

（提出期限：2022年11月18日17時）

（提出先：office@jaise.site）

|  |  |
| --- | --- |
| (ふりがな)候補者氏名 | りゅうがく　　たろう留学　花子（グローバル大学） |
| (ふりがな)推薦者氏名（自薦の場合は「本人」と記入） | こくさい　　たろう国際　太郎（グローバル大学） |
| 推薦者の勤務先名称・職名 | りゅうがく大学OX△学部XXXX学科特任講師（日本語）留学生生活相談カウンセラー兼務 |
| 推薦者が候補者と最初に知り合った時期と切欠（自薦の場合は「本人」と記入） |  |
| 推薦者と候補者との推薦上の関係（自薦の場合は「本人」と記入不要） | 推薦者の立場：候補者の立場： |

1. 推薦者が考える奨励候補モデルのタイトル（候補者が考える内容と一致する必要はありません）
2. 奨励モデルとなる活動業績に関するキーワードやキーフレーズ（候補者が考える内容と一致する必要はありません）
	1.
	2.
	3.
	4.
	5.
	6.
3. 奨励モデルとして推薦するこれまでの活動業績概要（最低400から1,000字程度）-候補者が考える内容と一致する必要はありません。
4. 候補者の今後の活動計画の概要と今後期待できる将来性（総括として５－６行程度）-候補者が考える内容と一致する必要はありません。
5. 奨励モデルの評価-候補者が考える内容と一致する必要はありません。

今回、留学生教育学会の奨励賞として受賞候補者を推薦するにあたり、次の各項目について、候補者が他の人への奨励モデルとなりうる評価点と奨励モデルになる理由について簡潔に記入してください。なお、評価点は、０～５の間の整数を記入し、不要な数字は削除してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **タイプ** | **奨励モデルの種類** | **業績評価点** | **評価・推薦理由** |
| 整数を一つ選択奨励モデルとして推薦しない場合は空白 | 下記の「業績評価点」と「評価・推薦理由」の欄に書かれている数値や説明を全て削除し、奨励モデルとして推薦される項目を1項目以上選び、「業績評価点」と「評価・推薦理由」をご記入ください。推薦しない項目は、空白でご提出ください。 |
| A | 教育活動に関する奨励モデルの推薦 | 0-1-2-3-4-5 | 教育者の奨励モデルとして推薦しない場合は、評価点は「０」として、評価・推薦理由は記入不要です。また、このことにより不利になることはありません。 |
| B | 研究活動に関する奨励モデルの推薦 | 0-1-2-3-4-5 | 研究者の奨励モデルとして推薦しない場合は、評価点は「０」として、評価・推薦理由は記入不要です。また、このことにより不利になることはありません。 |
| C | 担当業務に関する奨励モデルの推薦 | 0-1-2-3-4-5 | 取り組まれた業務内容が奨励モデルとして推薦しない場合、評価点は「０」として、評価・推薦理由は記入不要です。また、このことにより不利になることはありません。 |
| D | 教育・研究・業務以外の社会貢献に関する奨励モデルの推薦 | 0-1-2-3-4-5 | 取り組まれた業務外の社会貢献活動を奨励モデルとして推薦しない場合、評価点は「０」として、評価・推薦理由は記入不要です。また、このことにより不利になることはありません。 |
| E | JAISEへのこれまでの貢献に関する奨励モデルの推薦 | 0-1-2-3-4-5 | JAISEへのこれまでの貢献活動を奨励モデルとして推薦しない場合、評価点は「０」として、評価・推薦理由は記入不要です。また、このことにより不利になることはありません。 |
| F | 前述以外の観点による奨励モデルの推薦 | 0-1-2-3-4-5 | この欄に記入する奨励モデルを推薦する場合、推薦する奨励モデルの内容が分かるように説明と推薦理由をご記入してください。また、この欄を無理に記入する必要はありません。このことにより不利になることはありません。 |

数値目安

０：該当なし（該当ない場合は、無理やり評価・推薦理由を記入する必要はありません）

１：顕著ではないが、若手としての業績が見られ、今後の継続することにより、模範モデルとなることが期待される。

２：顕著ではないが、若手の奨励モデルとなる模範を周囲に示すことはできた。今後の継続することにより、一層の模範モデルとなることが期待される。

３：有形ではないが、他の会員が学べるような具体事例（制度設計、対処法、ノウハウ等）として業績を残し、ほかの若手の模範となる奨励モデルを構築した。今後の一層の発展と、他の若手への刺激となる相乗効果が期待できる。

４：有形で他の会員が学べるような目に見える形（論文発表、口頭発表、雑誌・新聞紹介、資料作成、制度作り等）で業績を残し、ほかの若手の模範となる奨励モデルを構築した。今後の一層の発展と、他の若手への刺激となる相乗効果が期待できる。

５：若手ながら、ベテランと比較しても国内級・国際級の表彰に値する実績（論文発表、口頭発表、雑誌・新聞紹介、資料作成、制度作り等）を残し、ほかの若手の模範となる奨励モデルを構築した。今後の一層の発展と、他の若手への刺激となる相乗効果が期待できる。

（ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました）